

私立大学図書館協会東地区部会 2006 年度次期役員校選考委員会  
議事要録

日 時：2006 年 4 月 21 日（金）午後 3 時 45 分～午後 4 時 20 分

場 所：駒澤大学 深沢キャンパス洋館大ホール

出席校：青山学院大学（手塚、熱田）、跡見学園女子大学（長谷川）、共立女子大学（見田、鳥海）  
國學院大學（岡田、古山）、中央大学（富田、荒木）、帝京大学（中嶋）、東京経済大学（丸本）  
東京農業大学（長尾）、北星学園大学（宮川）、国土館大学（齊藤、渡辺、相田）、  
昭和女子大学（大串）、東北学院大学（三浦）、立正大学（佐藤）、  
駒澤大学（松村、東、奈良田、鈴木、秋沢、新井、川越）

欠席校：早稲田大学

委任状：関東学院大学（4 月 10 日受理）、東京理科大学（4 月 10 日受理）

同席校：会長校・龍谷大学（寺本、甲野）

議事に先立ち、部会長校駒澤大学図書館長松村より挨拶があり、続いて出席者の自己紹介が行なわれた。議事進行は、部会長校松村図書館長が担当した。

議 事：

（1）役員校等選考に関する申し合わせについて

部会長校駒澤大学（松村）より、当委員会開催の趣旨が説明され「私立大学図書館協会東地区部会役員校等選考に関する申し合わせ事項（資料 p.1-4）」に基づき役員候補校を選考することを確認した。

引き続き、部会長校駒澤大学（松村）より、今回、「私立大学図書館協会東地区部会役員校等選考に関する申し合わせ事項（資料 p.5-6）」を現在の協会活動の実情に合わせた形に改定する旨の提案がなされ、承認された。なお、「私立大学図書館協会東地区部会役員校等選考に関する申し合わせ事項」の変更については、一部協会活動活性化策に伴う規程改正が前提となる。

「役員校等選考に関する申し合わせ事項」の改定箇所

2．役員校等選考基準

（2）「館長・事務長会議」の廃止に伴う条文を整備した。

3．選考対象一覧

\* 協会役員校……「館長・事務長会議」廃止に伴い、館長・事務長会議担当理事校を東北・北海道地区担当に変更。

\* 会場校……総会会場校の開催地は、近年では東西地区連続 2 年で交替する形となっているため実情に合わせて変更。

\* 協会委員会

研究助成委員会……委員は、これまで「協会賞・研究助成選考委員会」として構成員（審査員）も含め一体化してきた運営を改め、委員の兼務を取りやめ新たな委員構成を定めた。

（2）次期役員候補校選考について

部会長校駒澤大学（松村）より、次期及びその後の役員候補校等について、資料（p.7-8,10）

に基づき提案され、異議なく承認された。なお、現会長校の龍谷大学から、名簿担当の理事校は2007年より会長校が担当することになる旨補足説明があった。また、総会はじめ諸大会の開催候補校も報告され、確認の上、異議なく了承された。引き続き、4月14日(金)開催の常任幹事会で提案された2006年度私立大学図書館協会及び協会関連団体役員校・委員会委員が報告され、了承された。なお、2008年度東地区部会総会会場校が未選考であるので、候補校があれば推薦していただきたい旨の発言があった。

(3) その他

国公立大学図書館協力委員会委員館並びに専門委員及び主査の選出に関する申し合わせについて

部会長校駒澤大学(松村)より、資料(p.11-12)に基づき報告され、確認した。

以上